

小中一貫教育推進だより

つながる



平成 24 年 10 月 23 日 No. 18

十日町市教育委員会学校教育課



目指す姿の共有化

学校教育課小中一貫教育推進係
嘱託指導主事 平野久美

小学校では文化祭、中学校では合唱コンクールが目白押しの時期です。まさに文化の秋真っ盛りといったところです。現場にいた頃、ある1つのことを目指して取り組むことで、子どもたちがぐんと成長する姿に接して嬉しくなったことを思い出します。

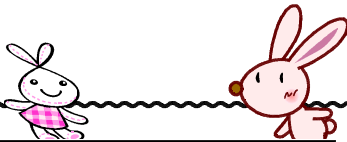
若かった昔のことです。研究会で他校の子どものすばらしい話し合いの様子等を見た後、自学級でも頑張ってみるのですが、なかなかうまくいかなかったことがよくありました。自分の指導の拙さはもちろんあるのですが、ある時から、子どもと「こんな」の共通理解ができていないのではないかということに思い至りました。私が目指す子どもの姿を子どもに口で説明し働き掛けても、こちらがイメージしている姿と子どもがイメージしている姿とのギャップがあり、こちらのイメージしている姿にまでは到達しないのです。ここを埋めたい。それから私の子連れ授業参観が始まりました。

4月に1つ上の学年の授業を見せてもらうのです。子どもたちに、「来年はこんな姿になっていよう。」と働きかけ、「こんな」の内容を参観で具体的に見てくる。1学年3学級あった学校へ勤務していたので、一番お手本になりそうな学級に依頼しました。参観後、みんなで「こんな」の内容を発表し合い、1年間の目標にし、達成できたことから花マルを付けていく。この方法は、今まで乗り越えることが難しかったギャップを少しずつ埋めてくれました。それだけではありません。迎える側の子どもたちは、「下学年の手本となるようにと、今までより更に頑張る。」という担任の話のおまけまでついたのでした。

今、小中一貫教育の一環として、中学生の活動の姿を小学生に見せたり、小・中学生が共に活動したりする取組が行われています。この取組を行うことで、こういった効果も大きいのだろうと改めて感じます。

下条中学校区では、小・中学校の縦割り班活動のスタートに当たり、中学校で「若葉班活動はじめの集い」を実施しました。ここで、校長先生は、なぜ若葉班活動を行うのかを掲示物を使って説明をしました。「小中一貫教育とは」ということから始まり、「十日町市の願い」や「下条中学校区の願い」から人間関係づくりの目玉として若葉班活動があること、その人間関係をよくするためには想像力を働かせ周りの人に気を配ることが大切であることなどを学校の重点目標とも関わらせながら、丁寧かつ分かり易い説明をされました。目的が分かり方法が分かる、納得の上での取組は、その後の生徒の取組の素晴らしさに表れていました。小学生と異なり、中学生ともなるとこういった方法で、目指す姿の共有化が図られるのだと感心しました。

職員間での目指す姿の共有化が図られつつある中、子どもにも、発達段階に応じたそういった工夫がなされることで、取組の成果は大きく変わりそうです。



しゅっちゅう一貫 耳より情報

<学力向上事業の取組から>

「プロに学ぶ～授業力向上研修会 part2」が10月19日(金)上野小学校で、野口先生をお迎えして実施されました。先回同様、多数の参加者がプロの授業とその考え方に触れ、素晴らしい研修となりました。参加者の声の一端を紹介します。

教材内容を教えるのではなく、教科内容を教えるのだという言葉が胸に刺さりました。これから国語科において教科内容をどのように子どもたちに教えていくか、私自身学んでいきたいと思います。

気力に満ちた授業で、その空気の中で子どもたちの声が「凛々」と変化してくるのが心地良かったです。向上的変化を目の前に見せていただけたことが自分の活力になりました。ご講演の分かり易さは、いつもながら目からウロコの連続で、自分がどんどん賢くなっていくような錯覚を堪能しました。

読字力、語彙力、文脈力を意識した国語の授業づくりに今後自分も取り組みたいと実感しました。講演会は参加型で、緊張と楽しさのある充実した研修会でした。

子どもを傷つけないようにとか、子どもに分かるように易しい言葉でと、授業していた自分の考え方や態度を考え直す良い機会となりました。

授業、講演会とも大変有意義でした。遠回りのようでも、このような研修会に参加し、教師の指導力を向上させることが、学力向上の王道かと思います。



しゅっちゅう一貫 先進地に学ぶ

<鴨川市の生き方学習>

千葉県鴨川市では、教科等の指導の重点を決め、9年間の学びの計画作りをしています。十日町市と同様に小学1年から小学4

年を前期、小学5年から中学1年を中期、中学2・3年を後期に分け、各期の「育てたい力」「指導の手立て」を明確にして取り組んでいます。

その中に「生き方学習」を位置付けています。「生き方学習」は、生活科と総合的な学習の時間の9年間を見据えた計画です。「自分とのかかわり」「人とのかかわり」「地域とのかかわり」「キャリア教育」の4視点を重点に、それを支える「基礎となる学習(スキル学習)」を明示しています。これをもとに改善をしながら進めているそうです。

資料の必要な方は係までご連絡ください。

生き方学習 ～ 小中一貫教育指導の重点 ～				
〔「9年間の学び」を通して目指す子ども像〕				
☐ 自分のよさや可能性に自信を持ち、自ら学ぶとする意欲や将来への夢や目標をもって主体的に活動し、 ☐ 人とのかかわりの中で意欲したり自分を磨いたりしながら自分を高め、相手のよさを認め、自己の生き				
区分	前 期			
内 容	小学1年(1年)	小学2年(2年)	小学3年(3年)	小学4年(4年)
	人とのかかわりの中で、自分のよさに気づく。			
育てたい力	○ 自分のよさやがんばり、成長に気づき、自信を持つことができる。			
指導の手立て	・ 家族、先生、友だち、近所の人など、いろいろな人とかかわる活動を通して、様々な人とかかわり合いながら生活していることに気づかせる。 ・ 自分のよい所を見つたり、これまでのがんばりを振り返る活動を通して、自分のよさに気づかせ、意欲や自信を持たせる。			
運動の例	うれしいな、1年生になったよ	大きくなったわたし	わたしのよいところを見つけたいよ	10歳になるまでの自分
育てたい力	○ 様々な思いやり、よさを見つながら、協力して活動することができる。			
指導の手立て	・ 家族、先生、友だち、近所の人などいろいろな人とかかわる活動を通して様々な人とかかわり合いながら生活していることに気づかせる。			



モデル中学校区11月の活動予定



日時	＜内容＞	会 場	見 ど こ ろ
6 日 (火)	＜交流活動＞	中里中学校	・学区内の小学5年生が中学校に集まり、仲間づくりの活動・合同給食・中学校の授業を体験します。
10 : 25 ~ 15 : 45			
9 日 (金)	＜交流活動＞	下条小学校 体育館	・中学生が小学校の体育館で、小中混在の若葉班毎に、ゲームをしたり 16 日の持ち物確認をしたりします。
8 : 15 ~ 8 : 30			
10 日 (土)	＜交流活動＞	川西中学校 体育館	・中学校の合唱コンクールを開催します。生徒会役員が事前に小学校に出向いて、小学生に参加を呼びかけます。全員合唱では参加者全員で「ふるさと」を合唱します。
13 : 30 ~ 15 : 30			
16 日 (金)	＜交流活動＞	下条小学校 下条中学校 下条公民館	・本年度2回目の小中一貫の縦割り班活動、ジャンボ若葉班活動です。調理・実験工作・ゲーム等、児童生徒がかかわり合いを深めながら、主体的に活動に取り組みます。より充実した活動になるよう、1回目の反省を班長に伝達しておくなどの工夫をします。一人一人の振り返りカードをもとに自己評価する時間も終末に設定しています。
13 : 25 ~ 15 : 10			
19 日 (月) ~ 22 日 (木)	＜あいさつ運動週間＞	①下条中学校前 信号付近 ②下条小学校前 信号付近	・下条中学校区では、縦割り班ごとに日を割り振り、左記の場所であいさつ運動を行います。今回は6回目の取組です。
7 : 45 ~ 8 : 05			
22 日 (木)	＜交流活動＞	下条小学校 体育館	・小中の児童・生徒が小学校の体育館に集まり、これまでの取組の振り返りを行う、「あいさつ運動終わりの集い」を実施します。
8 : 15 ~ 8 : 30			
26 日 (月)	＜推進会議＞	下条小学校	・下条中学校区の小中一貫教育の在り様について熱く語り合います。今回は2回目の会議です。
15 : 00 ~ 16 : 30			
27 日 (火)	＜乗り入れ授業＞	松代中学校	・中学校区の全ての小学5・6年生が中学校で、一緒に「外国語活動」「算数」の授業を受けます。中学校教員から習ったり、小・中の教員のT・T指導を受けたりします。
13 : 30 ~ 15 : 20			
30 日 (金)	＜交流活動＞	川西中学校	・中学校区の6年生が中学校で、生徒会の説明を聞いたり、中学2年生と交流したりする「小中交流会」を実施します。後半に部活動体験を行います。
13 : 30 ~ 16 : 10			

